

卒業論文講評

小関 隆志

古瀬 友子「3Dプリンタと中小製造業の発展」

古瀬さんは、3Dプリンタの導入という切り口から、中小製造業の経営課題を取り上げました。

古瀬さんは当初、中小製造業の設備投資と資金調達に関心を持っていましたが、金融の統計データからは設備投資や企業経営の具体的なイメージに結びつけるのが難しい状況でした。

そうしたなかで、近年話題を呼んでいる「3Dプリンタ」という、より具体的な切り口から、中小製造業の経営課題を明らかにしようと考えたのは、たいへん良い発想の転換だったと思います。3Dプリンタは設備投資の事例としてもぴったりです。

3Dプリンタに焦点を定めてから論文を書き終えるまでに時間の余裕はあまりありませんでしたが、103社もの中小製造業企業からこのテーマに関するアンケートを集めたことは大いに感心しました。アンケート調査会社を利用したとはいえ、質問の設計や、集計結果の分析など、かなり難しい部分があったことでしょう。

自身の調査結果をもとに「3Dプリンタそのものに関心がないような答えが多かった」という貴重な発見をしました。

ただ、中小製造業とひとくちに言っても、分野は多種多様で、なぜ3Dプリンタへの関心が全体として低かったのかは、今回の調査では解明されていません。古瀬さん自身も最後の節で述べているように、今後の研究課題を見出したということで、そのことも貴重な発見だったと考えられます。